



## 交通安全対策の推進

### ● 現状と課題 ●

高齢者が被害者または加害者となる交通事故の割合が年々増加しており、各年齢層に対して啓発を行っていますが、今後、高齢化が進むにつれて更なる増加が懸念されるため、交通安全協会等と連携し必要な対策を施していくかなければなりません。そうした状況の中、高齢者の免許返納問題については、行政として、安心して免許返納ができる環境をつくるため公共交通機関の充実を図る必要がありますが、車がなくとも移動が可能な地域などにおける免許保有者が、自主的な免許返納や、車両への暴走防止装置取り付けを検討するなど、交通安全を意識した対応が求められています。

全国的に子どもが交通事故に巻き込まれるなど、特に中高生が関連する自転車事故が増えており、自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上が求められています。自転車利用者に対する啓発活動の推進や児童生徒の通学路に対する対策を施していくことも必要です。

三重県はシートベルトやチャイルドシート使用率が全国平均に比べ低く、交通事故の際に生命の危機的状態に至る可能性が高い状況です。子育て世代を中心にすべての年代でシートベルトやチャイルドシートの適切な使用に努め、交通事故の被害軽減につながる対策を行い、交通ルールの遵守とマナーの向上を目指すことが必要です。

交通危険箇所において注意を促す回転灯や啓発看板などの設置を進めてきましたが、新名神高速道路や国道477号バイパスの開通により、町内の交通事情が大きく変化したことから、町内各区やPTAなどとの連携を図り、交通危険箇所を把握し、安全点検の徹底に努め、必要な対策を施していくかなければなりません。

### ● 目指す方向 ●

① 交通安全意識の高揚を目指します

② 交通安全環境を整備します

### ● 関連する個別計画 ●

- ・菰野町子ども・子育て支援事業計画（①）
- ・菰野町通学路交通安全プログラム（②）

### ● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全に対する高い意識を持ち、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践する</li> <li>・地域の中での交通危険箇所の把握、点検を行う</li> <li>・シートベルト、チャイルドシートの適切な使用に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、交通安全意識の高揚を図る</li> <li>・回転灯など、交通安全施設の整備、維持管理を行う</li> <li>・道路の危険箇所の点検、改善を行う</li> </ul>